



多摩テクノプラザの取り組み

楽しいものづくりイベントを多数開催

多摩地域の方々との積極的な連携を図っています

多摩テクノプラザは、多摩地域を中心とする中小企業の皆さまに技術支援サービスを提供し、多くの方々にご利用いただいています。さらに、地域の方々に設備・機器を知っていただき、科学技術に親しんでいただく、地域との連携を深めるイベントを開催しています。一例として、毎年行っているイベントをご紹介します。

夏休みのものづくり体験

毎年夏休みに開催する「夏休み子ども科学技術教室」(8月)は、お子さんと保護者の方が、ものづくりや科学実験を楽しむ、産業への理解を深めることを目的とした行事です。平成24年度は、向かい風の力を利用し風に向かって走る「ウィンドカー」の製作、レモンや活性炭、食塩水などの身近な材料を使った電池製作と燃料電池の組み立て体験、牛乳パック製のモビールとバランスボードで力のつりあいを学ぶ体験、電気と磁石の生み出す力を学ぶモーターづくりの4コースを開催しました。立川自然と科学の会(立川市のグループ)にも協力いただき、地域連携がさらに深まりました。ものづくり体験を心から楽しみ、教室で仕上げた成果物を顔を輝かせながら持ち帰るお子さんたちが、将来のものづくり産業をきっと担っていくことでしょう。

また、多摩消費生活センターが主催する「夏休み親子講座」(7~8月)にも協力し、紫外線についてのわかりやすい解説と紫外線硬化樹脂を使ったコースターづくり、紫外線を利用した機器(3Dプリンタ、耐候性試験機)の見学を行いました。消費者の立場から、ものづくりについて理解していただく機会になったと思います。



図1 モビールづくりに集中する参加者の方々
(夏休み子ども科学技術教室)

「ウェルカムデー」での施設紹介

さらに大きなイベントが、毎年10月に産業サポートスクエア・TAMA全体で開催する「ウェルカムデー」です。多摩テクノプラザは多くの設備・機器を公開し、どういった試験機器があるか、どのような試験をしているのか、どんな研究をしているかを来場者にわかりやすく紹介しました。電子顕微鏡による観察や、熱転写プリントでのオリジナルポーチづくりなど、参加型のコーナーも大変盛況でした。また、黒ラブ教授(吉本興業)による理系お笑いトークライブも行い、一見“とっつきにくい”、“難しくてよくわからない”と思われがちな理系の話題が、お笑いネタの衣をまとって披露され、会場は大きな笑い声で包まれました。

ほかにも多摩テクノプラザでは、地域の生涯学習事業や学生のインターンシップ受け入れなど、地域の連携を図っています。平成25年度も子ども科学技術教室、施設公開など、ものづくりへの関心を高める楽しいイベントを企画していきます。ぜひ多摩テクノプラザのイベントにお越しください。



図2 オリジナルポーチづくり
(施設公開)



図3 燃料電池車の試走デモ
(施設公開)

総合支援課 <多摩テクノプラザ>
小山 元子 TEL 042-500-2300
E-mail:koyama.motoko@iri-tokyo.jp